小学校　第４学年「図画工作科」シラバス

図画・工作の領域構成

次の２領域です
○表現
○鑑賞

４年生の目標

（１）進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
（２）材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。
（３）身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。

★評価の観点

①「造形への関心・意欲・態度」
　自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながらつくりだす喜びを味わおうとする。
→授業態度、作品の提出、レポート等
②「発想や構想の能力」
　感じたことや見たこと、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしている。
→授業態度、作品のアイデア、レポート等
③「創造的な技能」
　手や体全体の感覚を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫している。
→授業態度、作品等
④「鑑賞の能力」
　身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いをとらえたり、よさや面白さを感じ取ったりしている。
→レポート、発表等

	学習する単元の名称	主な学習内容
前期	・ゆめのれいぞう庫	・仕組みを理解して開いたり閉じたりすると面白いドアを考えて作ります。
	・ぬのでかざろう	・いろいろな布を用意し、結んだ　り長くつなげたり、広げて結んだりして形を作っていきます。
	・ねん土のひもから	・ねん土のひもをのばしたり、まいたりつけたりしていろいろな形をつくります。
	・コロコロガーレ	・転がる仕組みを考えて、ビー玉やボールの転がる楽しいめいろやゲームを作ります。
	・心にのこったそのことを	・心にのこった出来事を、そのときの気持ちが伝わるように工夫して絵に表します。
	・ふれあい活動 啓発ポスター	・テーマの願いを込めてポスターをかきます。
	・ここにはきっといるよ	・教科書を見て、場所の雰囲気からキャラクターを発想し、場所とキャラクターを組み合わせて鑑賞します。
後期	・物語の世界	・物語の好きな場面の様子を想像して絵に表します。
	・光でうつし出す世界	・光と影でできる形や色の組み合わせを工夫して思いにあった世界を作ります。
	・ゆめの世界のゆめの家	・夢の世界を想像して、思い付いたイメージを表して夢の家を作ります。
	・とび出すメッセージ	・飛び出す仕組みを考えて、形や色を工夫したカードを作ります。
	・ほってすって	・日頃の生活で印象に残ったことを、彫刻刀の彫り方などを工夫して表し、インクの量やローラーの使い方などを考えて，刷りを楽しみます。